



地球深部科学研究交流会



この度、GRCでは、愛媛大学、九州大学、広島大学を中心とした、地球深部科学関連分野の研究発表・交流会を、以下の日程で開催いたします。関連分野の研究者・学生の皆さまのご参加をお待ちしております。

日時： 2007年 3月6日(火) 13:00 ~ 18:50

3月7日(水) 9:00 ~ 15:00

場所： 愛媛大学総合研究棟 6階理学部会議室

3月6日(火)

プログラム

13:00 - 13:10 開会挨拶

13:10 - 13:40 C.R. Bina (Northwestern Univ.)

The decompressed density of Mercury: Modeling a planetary interior

13:40 - 14:00 安東 淳一 (広島大・地球)

広島大学設置改良Griggs型変形実験装置と蛇紋岩の変形実験

14:00 - 14:20 片山 郁夫 (広島大・地球)

ザクロ石のレオロジー

14:20 - 14:40 西山 宣正 (Chicago Univ.・APS)

DIA型変形装置(DDIA)を用いた変形実験

14:50 - 15:20 鍵 裕之 (東大・理)

ダイヤモンド中の包有物から地球内部を探る

15:20 - 15:40 A. A. Shiryaev (Shubnikov Inst.)

Impurity diffusion and microstructure in diamonds deformed at high pressures and temperatures

15:40 - 16:00 川本 竜彦 (京大・理)

マントルウェッジのH₂Oを理解するための高圧実験: 臨界終端点と元素分配と水溶液の構造について

16:00 - 16:20 井上 徹 (愛媛大・GRC)

高圧実験からみた地球内部の水

16:20 - 16:40 土屋 旬 (愛媛大・GRC)

含水 相の弾性特性

16:50 - 17:20 中田 正夫 (九大・理)

True polar wander associated with continental drift on a viscoelastic Earth

17:20 - 17:40 鳥井 翼 (九大・理)

スタグナントスラブの形成メカニズム - 海溝の後退、マントル粘性、クラベイロン勾配からの制約 -

17:40 - 18:10 吉岡 祥一 (九大・理)

流れ・熱・カインティクスを統合したスラブ沈み込みの2次元数値モデルの定式化に関する予備的考察

18:10 - 18:30 河野 義生 (愛媛大・GRC)

マントル遷移層条件下における沈み込んだ海洋地殻成分の低速度異常化: 高温高圧下における

18:30 - 18:50 土屋 卓久 (愛媛大・GRC)

MORBの弾性波速度測定からの制約
マントル深部速度構造の物質学的モデリング

19:00- 懇親会

3月7日(水)

9:00 - 9:30 入船 徹男 (愛媛大・GRC)

Ultrahard nano-polycrystalline diamond: a potential window to CMB and the inner core

9:30 - 9:50 久保 友明 (九大・理)

Seismological and experimental constraints on metastable phase transformations and rheology of the Mariana slab

9:50 - 10:10 遊佐 斉 (物材機構)

珪酸塩六方晶ペロブスカイトについて

10:10 - 10:30 大藤 弘明 (愛媛大・GRC)

LHDACを用いたFeSの高温高圧下X線その場観察と新しい高圧相

10:30 - 10:50 山田 明寛 (愛媛大・GRC)

含水マグマの高圧下におけるネットワーク構造の長距離化

10:50 - 13:00 ポスターセッション

13:10 - 13:40 金嶋 聡 (九大・理)

深部スラブの微細構造と深発地震について

13:40 - 14:10 趙 大鵬 (愛媛大・GRC)

Multi-scale tomographyから見た地球の内部構造とダイナミクス

14:10 - 14:30 山田 朗 (愛媛大・GRC)

マントル遷移層不連続面の地震学的特徴

14:30 - 14:50 出原 光輝 (愛媛大・GRC)

最下部マントル超低速度層の多様性と起源

14:50 - 15:00 閉会挨拶